



PHILIP MORRIS JAPAN

フィリップ モリス ジャパン
報道用資料

Delivering
A SMOKE-FREE
FUTURE



より良い選択ができる未来へ

10年前、誰が想像したでしょう。

IQOSに切替える人々の選択が、加熱式たばこの可能性を広げた画期的な取組みが、社会に、そして私たちの業界になにより大きな変革期を迎えさせてくれることを。

私たちは業界に先駆け、1990年代より革新的なテクノロジーに投資し、2014年にIQOSを販売。変革への道をユーザーとパートナーとともに歩み始めました。

製品のクオリティにこだわりつづけ、
イノベーションを重ねている今この瞬間も、まだ通過点に過ぎません。
いずれ紙巻たばこが過去のものとなり、歴史上の存在となるまで。

「煙のない社会」の実現に向けて
私たちの歩みはこれからも続いていきます。

CONTENTS

01 フィリップ モリス ジャパンの紹介	P04
会社概要	P05
PMJのビジョン	P06
社長メッセージ	P07
数字で見るPMJ	P08
PMIの業績について	P09
02 「煙のない社会」の実現に向けて	P10
煙のない社会	P11
喫煙環境の整備	P12
BtoBの取組み	P13
03 研究開発への取組み	P14
たばこハーム・リダクション	P15
IQOSのリスク低減可能性の科学的実証	P17
たばこ製品との違い	P18
PMIの研究開発施設	P19
04 たばこ規制環境について	P20
米国食品医薬品局 (FDA) へのMRTP申請	P21
日本におけるたばこ規制環境	P22
05 IQOS、加熱式たばこ製品について	P23
IQOSの概要	P24
スマートコアスティック®の技術について	P25
「IQOS ILUMA i」シリーズの特長	P26
「IQOS ILUMA」シリーズの特長	P27
製品ラインアップ	P28
IQOSの販売場所・サポート	P29
lil HYBRID™について	P30

会社概要

PMJのビジョン

社長メッセージ

数字で見るPMJ

PMIの業績について

フィリップ モリス ジャパンの紹介

01

※本資料における「成人喫煙者」は日本においては20歳以上を指します。

会社概要

フィリップ モリス インターナショナル Philip Morris International Inc. (PMI)

設 立	1847年 英国でフィリップ モリス社として設立
本社所在地	米国・ニューヨーク市
統 括 本 部	スイス・ローザンヌ
代 表 者	ヤツェック・オルザック (Jacek Olczak)
従 業 員	82,700名以上
ビジネスを展開している マーケット	約180市場 (製造工場拠点：50か所)



フィリップ モリス インターナショナルの製品ポートフォリオは主に紙巻たばこおよび煙の出ない製品で構成されており、世界の約180市場において製品を販売しています。

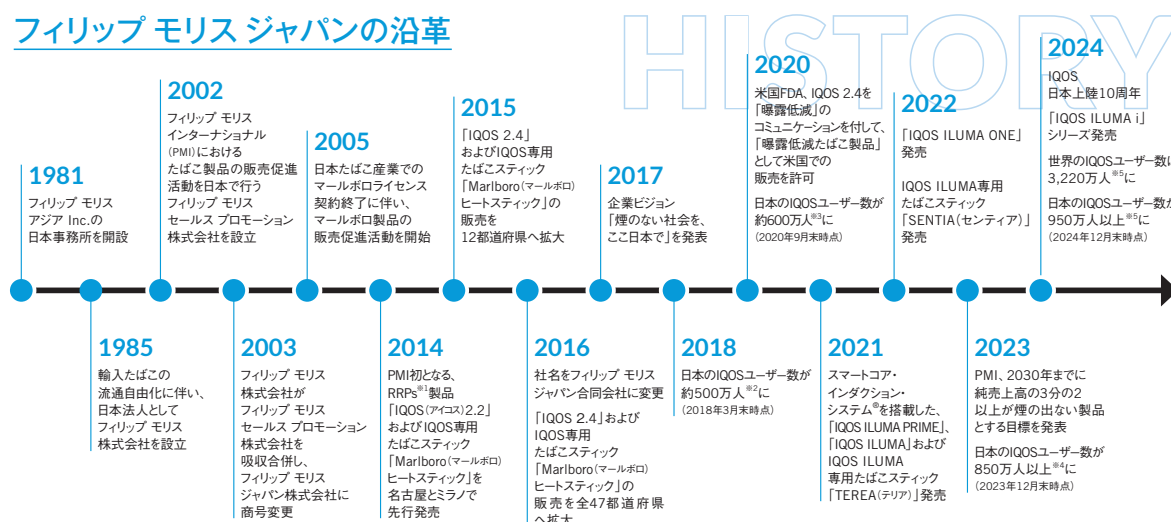
フィリップ モリス ジャパン合同会社 Philip Morris Japan Limited (PMJ)

設 立	1985年
代 表 者	シェリー・ゴー (Shea Lih Goh)
従 業 員	約1,600名
ブランド	加熱式たばこ デバイス：IQOS ILUMA i (アイコス イルマアイ)、 IQOS ILUMA (アイコス イルマ) 加熱式たばこ：TEREA (テリア)、SENTIA (センティア) 紙巻たばこ：Marlboro (マールボロ)、Lark (ラク)、 Parliament (パルラメント)、Virginia S. (バージニア・エス)
国内たばこ市場シェア	約41.3% ※2024年



フィリップ モリス ジャパン合同会社は、フィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社で、日本で販売されるフィリップ モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。

フィリップ モリス ジャパンの沿革



※1 RRP (リスクを低減する可能性のある製品)は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、または少なくなる可能性のある製品を指すものとして使用している言葉です。開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPsが存在します。RRPsはたばこを燃やさないで、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害成分ははるかに少なくなっています。 ※2 PMI プレスリリース資料 (2018年5月25日発表) IQOS ユーザーとは、直近7日間における1日のたばこ製品の消費量の中に少なくとも一部PMIの加熱式たばこ製品を含むと、推定される成人喫煙者数。 ※3 PMI 2020年第3四半期決算資料 (2020年10月20日発表) ※4 PMI 2023年第4四半期および通期決算資料 (2024年2月8日発表) ※5 PMI 2024年第4四半期および通期決算資料 (2025年2月6日発表)

PMJのビジョン

煙のない社会を、ここ日本で フィリップ モリス ジャパンのビジョン

私たちは企業ビジョンである「煙のない社会」の実現を目指し、紙巻たばこ事業から段階的に撤退し、煙の出ない製品への切替えを促進しています。

今後も喫煙を続ける意思を持つ一人でも多くの成人喫煙者に向けて、優れた代替製品を幅広く提供することで、健康リスクの低減や公衆衛生の向上、また完全な禁煙を促すことができると考えています。

煙を出さずに使用できる革新的な製品を開発・発売して以来、すでに世界中で3,860万人以上^{※1}の方々がPMIの煙の出ない製品を使用しています。

時代が大きく変化していく中、私たちは流れに身をゆだねるのではなく、会社の新しい方向性を打ち出し、大きな一歩を踏み出しました。今後も研究開発を進め、この大胆な企業ビジョンを着実に進めてまいります。



フィリップ モリス ジャパンについて

フィリップ モリス ジャパンは、米国を除く世界各国でたばこ事業を展開する世界屈指のたばこ会社であるフィリップ モリス インターナショナルの日本法人です。加熱式たばこ「IQOS ILUMA i(アイコス イルマ アイ)」シリーズ、「IQOS ILUMA(アイコス イルマ)」シリーズをはじめ、マールボロ、ラーク、パーラメント、バージニア・エスといった、フィリップ モリス社製品のマーケティングおよび販売促進活動を行っています。当社は1985年に日本で事業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日では全国に約1,600名^{※2}の従業員を擁し、日本のたばこ市場で41.3%のシェア^{※1}を有する日本第2位のたばこ会社となっています。当社は「煙のない(スモークフリー)社会を、ここ日本で」の実現をビジョンとして掲げ、変革を推進しています。

※1 2024年12月末時点。PMI 2024年第4四半期および通期決算資料(2025年2月6日発表) ※2 2024年12月時点

社長メッセージ

「煙のない社会」の実現に向けて

**PMI初となる、加熱式たばこ「IQOS」を煙の出ない革新的な製品として
日本で展開してから、10年の節目を迎えました。**

害ある紙巻たばこの煙を発生させない。煙の出ない製品を研究・開発することで、一日も早く、成人喫煙者がこれらの製品に切替えることを目指しています。

2014年に日本で初めて「IQOS」を発売以降、日本においては加熱式たばこ製品が顕著に伸びており、当社の企業ビジョンである「煙のない社会」の実現に向けて、大きく前進しています。日本におけるIQOSユーザー^{※1}は950万人以上^{※2}と増加の一途を辿っているほか、PMIが製品を展開する他国と比較しても、日本はいち早く煙の出ない製品の売上高がすでに純売上高の75%を越えています^{※3}。もちろん禁煙することが一番ですが、喫煙を続ける意思のある成人喫煙者に満足感のある、より良い選択肢を提供することは公衆衛生上、大きな意義があるため、加熱式たばこ製品などの煙の出ない製品への研究・開発に、他社に類をみない規模で投資し、製品化を進めてまいりました。

今後も日本で「煙のない社会」を目指して変革を推進する上で、以下を事業の柱といたします。

最適な体験と、最高品質の製品を提供

国内で多様化するお客様のニーズに応えるべく、私たちは最高の製品とサービスを提供し続けます。IQOSの市場導入は、私たちの会社にとって新時代を切り拓きました。IQOSデバイスを最新モデルへ進化させるとともに、多くの味わいやラインアップを提供することで様々な需要に対応しています。私たちの目標は、お客様にとって長期的な価値を創造し、常に進化するカスタマーケアプログラムを通じて、できる限り紙巻たばこからIQOSへの切替えをスムーズにできるよう努めることです。

インクルージョンとダイバーシティの推進

私たちの事業変革のコアとなる人材が共存する環境、つまりあらゆる従業員が対等に活躍できるインクルーシブな企業文化の醸成と人材の多様化を進めていきます。公正公平な機会、そして他者を尊重する精神をもって、すべての従業員が最高のパフォーマンスを発揮できる職場環境を目指します。

社会との対話と「ハーム・リダクション」の啓発

私たちは、信頼性と責任を基盤として事業を推進していきます。社会的役割と変化し続ける社会のニーズを理解し、政策決定者や多くのステークホルダーと科学に基づいた対話を進めています。また社会全体で害の低減を目指す「ハーム・リダクション」を公衆衛生政策の重要な要素と捉え、紙巻たばこを喫煙し続けることより、より良い選択肢への切替えを促すような規制と税制を支持しています。「煙のない社会」とは野心的な目標ではありますが、私たちのコミットメントは強固であり、フィリップ モリス ジャパンを支える才能豊かな人材が、「煙のない社会」の実現に向けて、あらゆる困難にも打ち勝っていけると確信しています。



フィリップ モリス ジャパン合同会社 社長
シェリー・ゴー

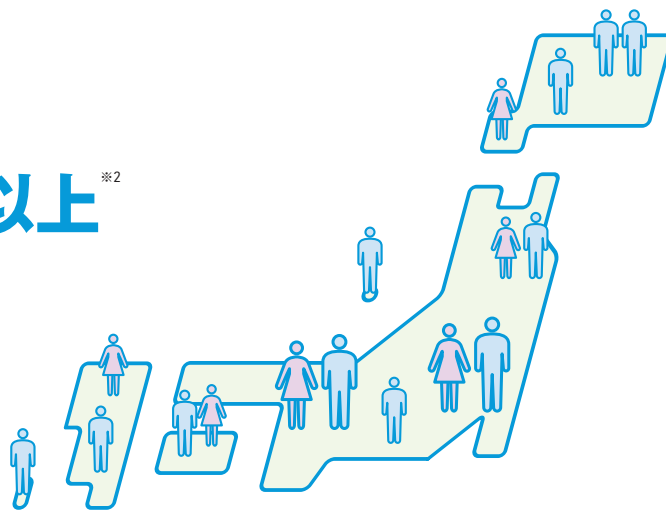
1993年にマレーシアのフィリップ モリス インターナショナル子会社であるゴッドフレイ フィリップスに入社。その後、香港、中国、台湾、インドネシアなどアジア各国におけるフィリップ モリス傘下企業にてマーケティングならびにセールス部門でキャリアを築き、2016年よりアジアにおける加熱式たばこ製品の統括責任者を務めた。2018年1月より現職。一般社団法人日本たばこ協会理事。

※1 直近7日間における1日のたばこ製品の消費量の中に少なくとも一部PMIの加熱式たばこ製品を含むと、推定される成人喫煙者数 ※2 PMI 2024年第4四半期および通期決算資料(2025年2月6日発表)
※3 PMI 2023年第2四半期決算資料(2023年7月20日発表)

数字で見るPMJ

IQOSユーザー数^{※1}

950万人以上^{※2}

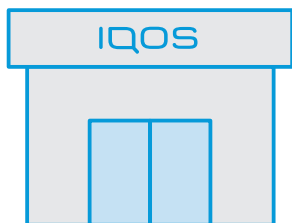


IQOSストア

4店舗^{※3}

所在地：

札幌、銀座、
名古屋、心斎橋



リサイクル拠点

1か所^{※3}



従業員の国籍数

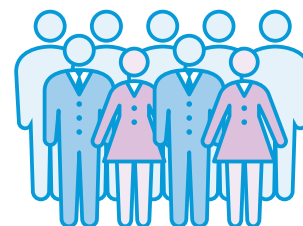
40か国^{※3}



全従業員

1,600人^{※3}

うち約1,000人が
現場営業に従事^{※3}

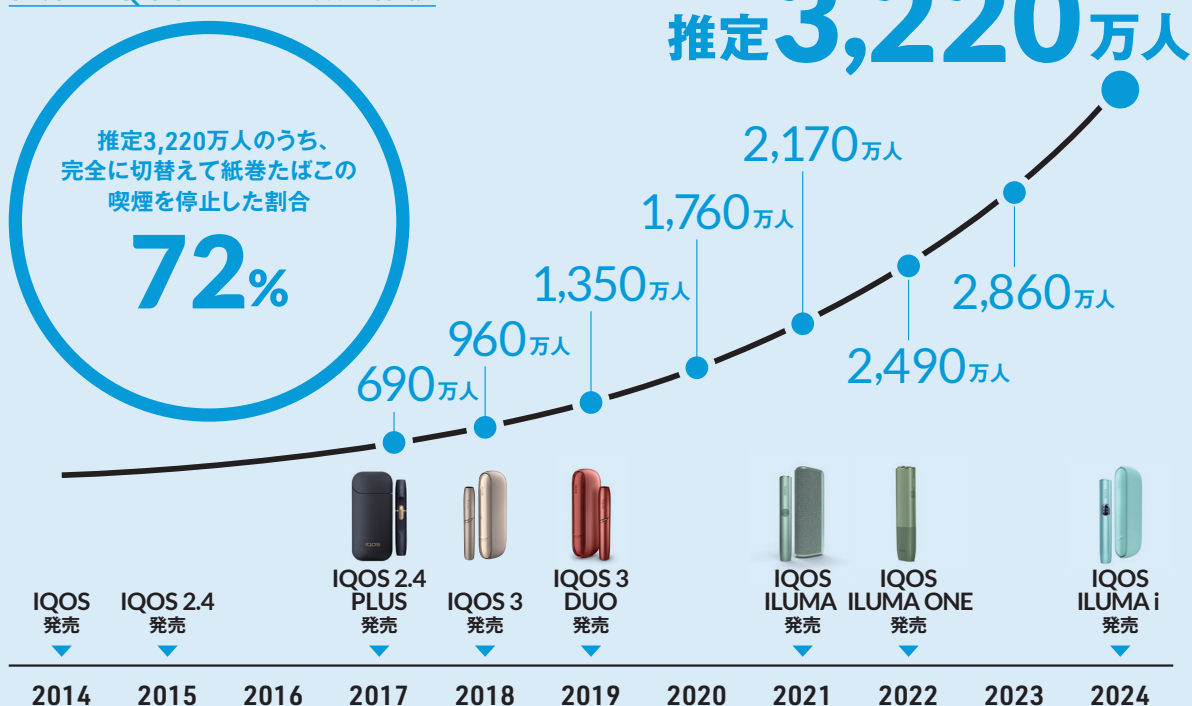


PMIの業績について

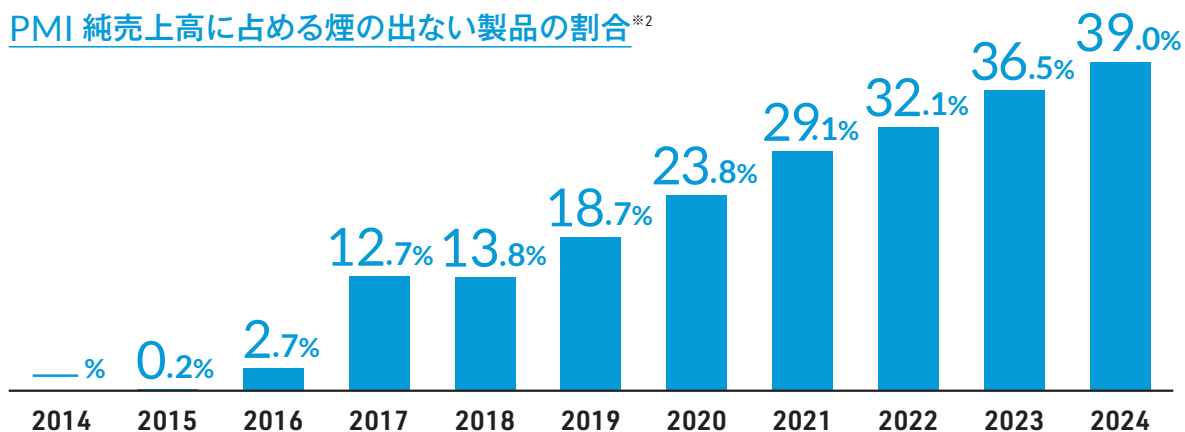
世界のIQOSユーザー数は推定3,220万人を突破

世界のIQOSユーザー数^{※1}は順調に拡大し、2024年12月末時点で推定3,220万人に到達。そのうち72%の成人喫煙者が喫煙をやめ、加熱式たばこに切替えたと推定しています。また、煙の出ない製品のPMI純売上高に占める割合は年々増加し、約39%となっています。^{※2}

世界のIQOSユーザー数の推移^{※2}



PMI 純売上高に占める煙の出ない製品の割合^{※2}



※1 直近7日間における1日のたばこ製品の消費量の中に少なくとも一部PMIの加熱式たばこ製品を含むと、推定される成人喫煙者数。 ※2 2024年12月末時点。PMI 2024年第4四半期および通期決算資料 (2025年2月6日発表)

煙のない社会

喫煙環境の整備

BtoBの取組み

「煙のない社会」の実現に向けて

02

煙のない社会

「煙のない社会」の実現に向けて

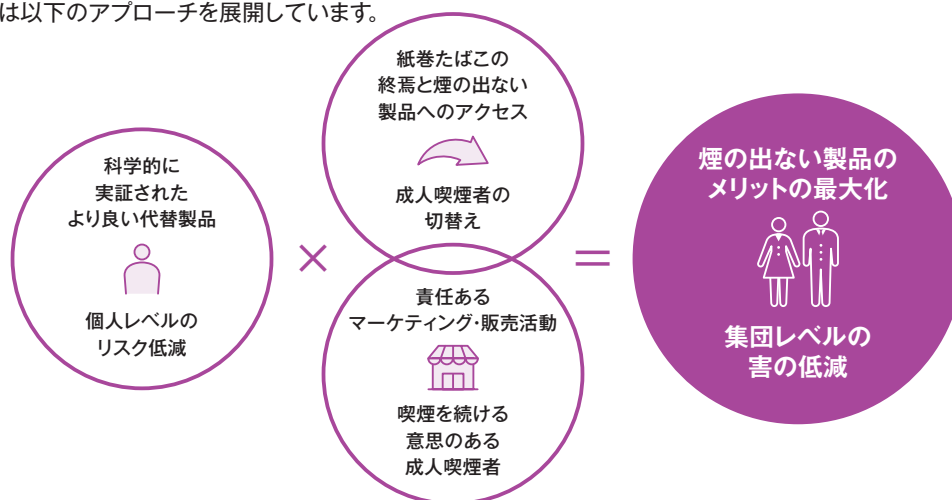
私たちは会社の将来を煙の出ない製品に託し、最終的に紙巻たばこ事業から撤退することを公に表明した唯一のたばこ会社であり、「煙のない社会」の実現に向けてその姿勢を示しています。

私たちは日本国内のすべてのステークホルダーと協力して、従来の紙巻たばこをより良い代替品に切替えていくことを表明しています。私たちが目指すのは、健康へのリスクを低減する加熱式たばこ製品の開発によって業界のリーダークラフパイオニアとなり、紙巻たばこによる煙のない日本を作り上げていくことです。

スタジアム、カフェ、世界遺産、オフィスなど、消費者との接点となる数多くの場所を紙巻たばこによる煙のない場所にし、加熱式たばこの愛用者が指定された適切な場所で加熱式たばこ製品を使用できるよう支援しています。

煙の出ない製品のメリットの最大化^{※1}

紙巻たばこの終焉を段階的に進めるために、オペレーションとバリューチェーンを変革し、紙巻たばこよりも害が低減されたと科学的に実証された代替製品の開発と評価、市販化を進めています。煙の出ない製品のメリットを最大化するために、私たちは以下のアプローチを展開しています。



紙巻たばこからの段階的な撤退^{※1}

喫煙関連疾患の主な原因はニコチンではなく、紙巻たばこが燃焼している時に発生する煙に含まれる有害および有害性成分によるものであることが広く知られています^{※2}。当社は、喫煙を続ける意思を持つ成人喫煙者に、科学的根拠に基づく、より良い選択肢を提供し、できるだけ早く、紙巻たばこから段階的に撤退することを目指しています。ただし、加熱式たばこなどの煙の出ない製品にもリスクがないわけではなく、吸っていない人は吸い始めない、喫煙している人は禁煙する、それが最善の選択です。

紙巻たばこ事業を売却すれば、紙巻たばこからの撤退という目標をより早く達成できますが、売却先企業が紙巻たばこ事業による収益最大化を目指してしまう可能性があり、社会全体のたばこの問題を解決することにはなりません。そのため、当社が責任を持って紙巻たばこを販売し続けながらも、代替製品への切替えを促し、紙巻たばこから段階的に撤退していく必要があると考えています。この考えに基づき、「煙の出ない製品」からの売上高を高める目標や、紙巻たばこの出荷量を減らす目標を掲げています。

^{※1} 出典：2022サステナビリティレポートより一部抜粋 ^{※2} 出典：Royal College of Physicians (2016) Nicotine without smoke: Tobacco harm reduction, London: RC

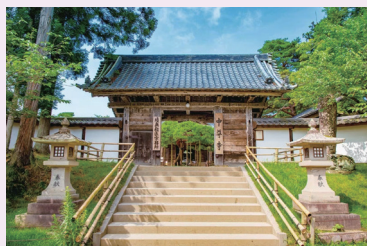
喫煙環境の整備

加熱式たばこ専用エリアの取組み

2020年4月に全面施行された改正健康増進法を受けて、日本各地で受動喫煙の防止を強化する動きがみられます。PMJは、公共の場所での喫煙を規制する措置を支援し、その一環として喫煙環境についての助言を必要とする事業主様や施設管理権原者様に加熱式たばこを活用した環境整備を提案しています。

「煙のない社会」を実現するための日本の取組みは世界をリードしており、加熱式たばこ専用スペースの設置が全国に広がりを見せています。

事例紹介



平泉町(岩手県)

PMJは同町と「たばこの煙のない平泉町を目指す」協定書を締結。史跡を火災のリスクから守り、よりクリーンで快適・安全に過ごせる取組みを進めています。



ZOZOマリスタジアム(千葉県)

千葉市のランドマーク的存在であるZOZOマリスタジアム。球場内のすべての喫煙所が加熱式たばこ専用になり、「煙のないスタジアム」となっています。



JR田町駅「加熱式たばこ専用エリア」(東京都)

JR田町駅西口の喫煙所を、煙の漏れない加熱式たばこ専用エリアに改修。東京都港区の「みなとタバコルール」に基づき、吸う人も吸わない人も快適な空間となっています。

カフェ・カラオケチェーンなどの取組み

改正健康増進法の全面施行によって、飲食店も原則として全面禁煙となりました。加熱式たばこは飲食店でも技術的要件を満たした場所であれば、使用が認められています。

PMJは大手カフェチェーンやカラオケチェーン(カラオケ ビッグエコー、ジョイサウンド、コート・ダジュール、上島珈琲店、ドトールコーヒーショップ、エクセルシオールカフェ、銀座ルノアール、イタリアントマト、ウェンディーズ・ファーストキッチン、プロント、自遊空間、快活CLUBなど※)、ホテルチェーン、エンターテインメント施設をはじめ、多くの企業様のご賛同・ご協力を得て、全国約2,000か所の加熱式たばこユーザーのための喫煙環境づくりを整備しています。

※2025年2月時点



BtoBの取り組み

煙のないオフィス環境へ

企業の抱える喫煙課題は、においの問題や従業員の健康問題、喫煙所の問題など、企業によって様々です。当社は、たばこメーカーとしての知見や経験を活かし、企業の喫煙課題解決にむけて最適なソリューションを提案し、サポートしています。

当社が2023年12月に独自で行った調査によると、すでに非喫煙者の受動喫煙対策に取り組んでいると答えた人事・総務ご担当者様は、全体の53.7%でした。また、全体の65.2%が喫煙を課題と感じており、多くの企業において喫煙対策への取り組みが始まっています。

※参考URL：当社ウェブサイト「企業の喫煙環境」
<https://www.pmi.com/markets/japan/ja/business-solutions/approach>

従業員の健康増進と企業の収益向上を、加熱式たばこへの切替えで同時に実現

北海道と沖縄を除く全国各地に拠点を構え、日本のロジスティクスを牽引しているフジトランスポート株式会社では、トラックドライバーを含む従業員の高い喫煙率が車内のおいや健康リスクなど、いくつかの懸念がありました。加熱式たばこへの切替えを推進するため、福利厚生として加熱式たばこの初期購入費用を一部会社で負担することで、従業員の健康増進を図りました。また、加熱式たばこへの切替え推進により、紙巻たばこによるおいや汚れがつかなくなるため、通常3～10年で売却するトラック車両の売却額向上や社宅の壁紙張替え費用削減など、従業員の健康増進だけでなく、コスト削減にも寄与しています。

フジトランスポート株式会社



職場環境改善とお客様に愛される店づくりのため、加熱式たばこを導入

「ドラッグストアコスモス」を全国展開する株式会社コスモス薬品では、店舗を拡大し順調に成長を続ける中で、本社の喫煙マナーとリフレッシュルーム（喫煙室）の在り方について課題を抱えていました。禁煙の呼びかけや喫煙タイムの設定などを試したものの、リフレッシュルームから漏れる煙とにおいに苦慮していました。そこで、PMJとの協働で喫煙する従業員に対し加熱式たばこへの切替えを推奨し、リフレッシュルームを加熱式たばこ専用ルームにリニューアルしたところ、この問題は大幅に解消されました。本社での取り組みは、全国の各店舗にも広がっています。

株式会社コスモス薬品



たばこハーム・リダクション

IQOSのリスク低減可能性の科学的実証

たばこ製品との違い

PMIの研究開発施設

研究開発への取組み

03

たばこハーム・リダクション

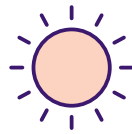
ハーム・リダクションとは

ハーム・リダクションとは、害を及ぼす行為そのものの阻止ではなく、引き起こされる害の低減を目的とした考え方です。ハーム・リダクションの例は、私たちの身近なところに存在しています。



例① 電気自動車

電気自動車は従来のガソリン車とほとんど同じように利用できますが、ガソリン車と同じ距離を走行したとしても、排気ガスを排出しない分、環境への影響が大幅に低減されます。



例② 日焼け止め

太陽光にさらされることが皮膚関連疾患や肌の老化などの原因になり得ることはよく知られています。しかし、日焼け止めやサングラスの使用により、リスクを低減させることが可能です。

行動そのものをやめることと同等ではありませんが、ハーム・リダクションの実践により害を低減し、自分自身や周囲に与える様々な影響を抑制することができます。

たばこハーム・リダクション

喫煙には、肺がんやCOPD（慢性閉塞性肺疾患）、CVD（心血管疾患）など重大な疾患を引き起こすリスクがあります。多くの国で喫煙率は低下しているものの、依然として多くの成人（日本では20歳以上）が喫煙を続けていることも事実です。こうした状況に対し、PMIは紙巻たばこよりも喫煙関連疾患を引き起こすリスクが低く、かつ成人喫煙者に満足してもらえるような代替品を提供したいと考えています。

紙巻たばこと比較して、よりリスクが少ない選択肢を提供することで、社会への悪影響を低減するという考え方を「たばこハーム・リダクション」と呼びます。これを効果的に実現するには、多くの成人喫煙者により良い代替品を選んでいただけるような、多面的な働きかけが必要です。

例えば、製品が広く販売店などで扱われ、適切な価格で販売される手に入りやすいものであること、製品に関する正しい情報が発信されることなど、あらゆるステークホルダーとの連携と環境整備が重要になります。

成人喫煙者に向けた多面的な働きかけ



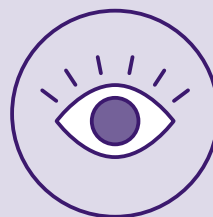
手に入りやすい

×



成人喫煙者が
満足する製品である

×



製品について正しい
情報発信ができる

×



適切な値段と
課税である

たばこハーム・リダクション

肺がんなど喫煙関連疾患の主な原因は、ニコチンではなく※、紙巻たばこが燃焼することで発生する煙に含まれる「有害性成分」だと考えられています。燃焼をなくすることで紙巻たばこに比べて有害性成分の発生とリスクを低減することができます。

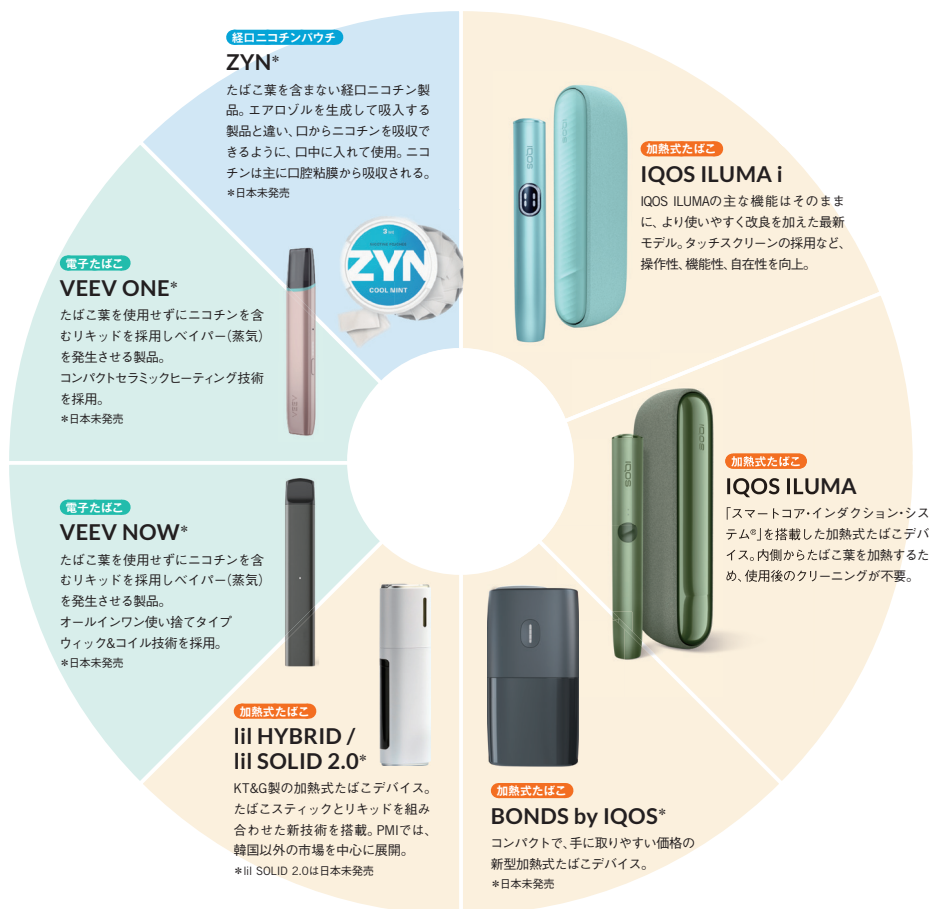
※ニコチンには依存性があり、リスクフリーではありませんが、喫煙関連疾患の主たる原因ではないというのが、専門家(英国王立内科医協会、英国国立医療技術評価機構など)の一致した見解です。

リスクを低減する可能性のある製品

私たちは、リスクを低減する可能性のある製品(RRPs)^{*1}として、3つのカテゴリーを用意しています。

- たばこ葉を燃やさず加熱する「加熱式たばこ」
- たばこ葉を使用せず、ニコチンを摂取する「電子たばこ」
- たばこ葉を含まない「経口ニコチンパウチ」

日本で販売されているIQOSはそのうちの一つです。



※1 RRPs(リスクを低減する可能性のある製品)は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、または少なくなる可能性のある製品を指すものとして使用している言葉です。開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPsが存在します。RRPsはたばこ葉を燃やさないもので、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害性成分ははるかに少なくなっています。

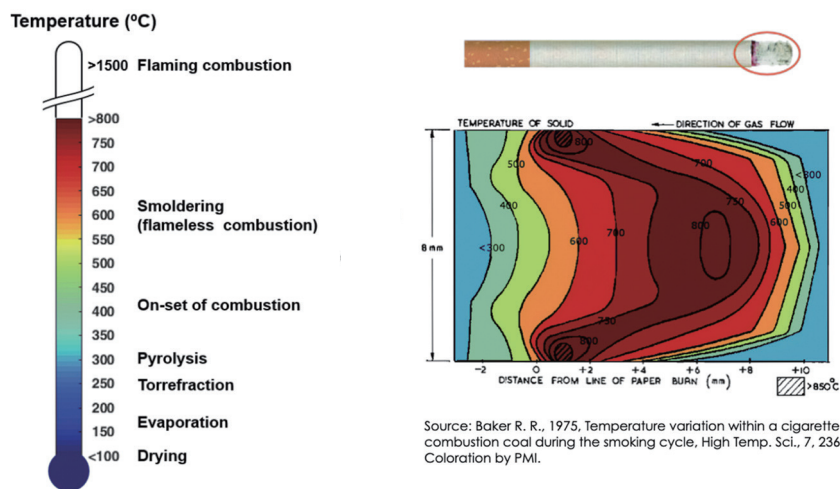
IQOSのリスク低減可能性の科学的実証

私たちは、紙巻たばこからIQOSに切替えることで、喫煙関連疾患を引き起こすリスクが低減するかどうかを実証するために、広範囲な科学研究を続けています。

正確に加熱温度を制御する加熱式たばこ

紙巻たばこに火をつけると、燃焼温度は800度以上になります。この燃焼による高温で、多くの化学反応が生じ、有害性成分を含む数多くの化学物質が発生します。

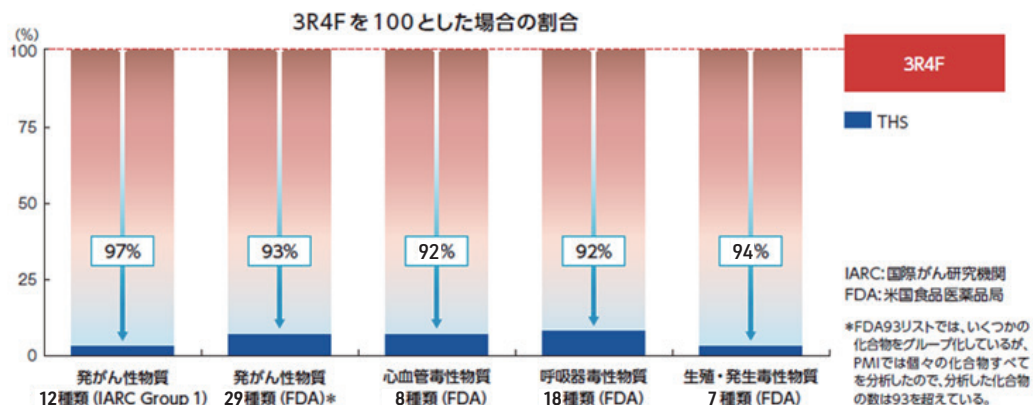
IQOSは、たばこ葉を燃やさず、燃焼に至らない温度で加熱します。このような低い温度では多くの化学反応が起こらず、発生するたばこペーパー（蒸気）に含まれる有害性成分の量は、紙巻たばこの煙と比べて大幅に減少します。



有害性成分の測定—紙巻たばこの煙との比較

紙巻たばこの煙とIQOSから発生するたばこペーパー（蒸気）の化学的分析を実施したところ、紙巻たばこの煙と比較して、IQOSから発生するたばこペーパー（蒸気）に含まれる有害性成分の量が、平均して約94%低減されていることが分かりました。

◆紙巻たばこ（3R4F）の煙と比較した加熱式たばこ（THS）の蒸気に含まれる有害性成分の平均低減率



出典：2023 Investor Day (2023年9月28日発表) 1) Schaller JP et al. Regul Toxicol Pharmacol. 2016, 81, Suppl 2: S27-S47. より作成

たばこ製品との違い

紙巻たばこの違い

	IQOS	紙巻たばこ
燃焼	加熱	燃焼
副流煙 (紙巻たばこの先端から立ち昇る煙)	出ない	出る
ニコチン	含む	含む
灰	出ない	出る
におい	少ない	ある
吸い口	紙フィルターを使用	紙フィルターを使用
たばこ葉使用	使用	使用
たばこの味わい	ある	ある

加熱式たばこと電子たばこの違い

加熱式たばこ「IQOS」は、電子たばこではありません。

加熱式たばこ	電子たばこ
IQOS専用たばこスティックはたばこ葉を使用している ので、財務省管轄のたばこ事業法の「製造たばこ」です。	たばこ葉が使われていないので、たばこ事業法の「製造 たばこ」ではありません。
たばこ葉を電気で加熱して、ニコチンを含むたばこペイ パー(蒸気)を発生させます。	たばこ葉を使用せず、フレーバーの入ったリキッドと呼ば れる溶液を電気で加熱し、発生する蒸気を吸いこむ製 品です。
	日本で販売されている電子たばこは、ニコチンを含み ません [*] 。

※ニコチンを含む電子たばこは、厚生労働省管轄の医薬品医療機器等法に基づく承認(有効性や安全性などの確認)が必要ですが、これまで国内で承認された製品はありません。

加熱式たばこ「IQOS」は禁煙のための製品ですか？

加熱式たばこ「IQOS」は禁煙補助製品ではありません。

周囲の方々に気遣いながらよりクリーンな形でたばこを楽しみたいという成人喫煙者向けの、紙巻たばこの代替となる製品です。

PMIの研究開発施設

PMIの研究開発施設

PMIは、研究開発拠点として、スイス・ヌーシャテルの「Cube」を中心に、生物学、物理学、電子工学、統計学、臨床科学、システム毒性学などの幅広い科学的・工学的専門分野に精通した科学者と技術者が、多様な国から集まっています。

RRPs=Reduced-risk products(リスクを低減する可能性のある製品)の研究開発費として多額の投資を行っており、研究結果は研究論文として、532件^{※1}を査読付科学雑誌へ公表し、専門家や規制当局に公開しています。



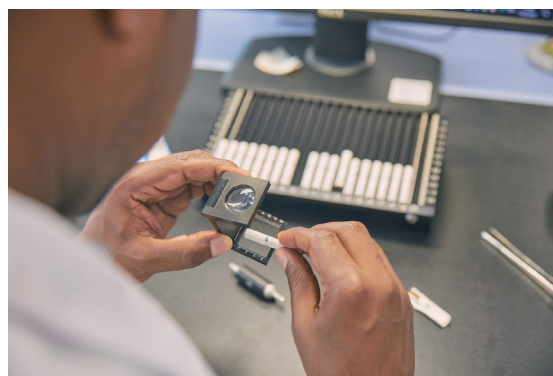
「Cube」外観



「Cube」内観



研究開発センターの科学者



研究開発の様子

RRPsへ研究開発投資



140億米ドル^{※2}

研究者の人数



1,586人^{※3}

研究開発投資額全体における煙の出ない製品への投資額の割合



99%^{※4}

煙の出ない製品関連における特許



最大3,720件^{※5}

※1 2008年～2023年に発表された当社の研究論文 ※2 2008年から2023年までに研究、製品開発、生産能力、科学的実証等に投資した金額 ※3 2003年に煙の出ない製品に携わった研究者や技術者の数 ※4 2023年の研究開発総額のうち、煙の出ない製品への費用が占める割合 ※5 スモークフリー技術に関し、世界の5大知的財産庁(IP5)から取得した特許件数(2015年～2023年の累計)

たばこ規制環境について

米国食品医薬品局へのMRTP申請 (FDA)

米国食品医薬品局(FDA)、 IQOSを「曝露低減たばこ製品」として許可

2020年7月7日、米国食品医薬品局(U.S. Food & Drug Administration; 以下FDA)は、PMIが提出した科学的検証データの審査を完了し、IQOSの「リスク修飾(軽減)たばこ製品申請(MRTP)」について「曝露(ばくろ)低減たばこ製品」として米国で販売することを許可しました。

IQOSは、同申請を通じて「曝露低減たばこ製品」として米国で販売を許可された、最初の電気加熱式たばこ製品です。このようなFDAの決定により、以下の対消費者コミュニケーションを付した形でIQOSを米国で販売することが可能となりました。

- IQOSはたばこ葉を燃やさず加熱する
- これにより、発生する有害および有害性成分の量が大幅に低減する
- 科学研究の結果、従来の紙巻たばこからIQOSに完全に切替えることで、成人喫煙者の体内での有害および有害性成分への曝露が低減する

曝露低減とは、「紙巻たばこの喫煙と比較して、製品を使用する成人喫煙者の体内で吸収される有害および有害性成分の数と量が低減している」ことを意味します。FDAは、PMIが申請において提出した科学的検証データでは、現時点では「リスク低減」までは裏付けられていないが、「曝露低減」は裏付けられていると判断されました。今回のFDAの決定は、IQOSは紙巻たばことは根本的に異なるたばこ製品であり、喫煙を続ける成人喫煙者にとってより良い選択肢であることを示すものです。

米国食品医薬品局(FDA)とは

- FDAは、米国において、すべてのたばこ製品の製造や販売、流通の規制を行う米国の政府機関です。
- 米国は、たばこ規制の法的枠組みにおいて、「リスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP)」というカテゴリーを有する、世界で唯一の国です。
- リスク低減あるいは曝露低減に関する対消費者コミュニケーションを表示する場合には申請が必要となり、広範囲な科学的データに基づき厳格な審査が行われます。

IQOS申請の経緯

申請は、IQOSデバイスおよび3種類のヒートスティック(マールポロ・ヒートスティック、マールポロ・スムーズ・メンソール・ヒートスティック、マールポロ・フレッシュメンソール・ヒートスティック)について行われました。



※外部専門諮問委員会

日本におけるたばこ規制環境

改正健康増進法の施行

2020年4月に全面施行された改正健康増進法は、望まない受動喫煙の防止を図るため、多くの方が利用する施設の区分に応じ、施設の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、管理権原者の方が講ずべき措置などについて定めたものです。これにより、多くの方が利用するすべての施設が原則屋内禁煙となり、喫煙を認める場合は各種喫煙室の設置が必要となりました。

PMJは新たな社会的要請に即した喫煙所を整備するとともに、たばこの煙のないよりクリーンな環境を整備するため、加熱式たばこ専用喫煙室の設置を推進しています。(PMJの取り組み紹介はP.11へ)



たばこ製品への「注意文言」表示

「たばこ事業法施行規則の一部を改正する省令(財務省令第4号)」(令和元年6月14日公布、施行)により「注意文言」などの内容や表示方法が変更されました。この改正により、加熱式たばこに関する注意文言が新設され、タール量およびニコチン量を表示する場合の注意文言表示が義務付けられました。また、注意文言の表示面積は、主要面において、従来の30%以上から50%以上に拡大されました。



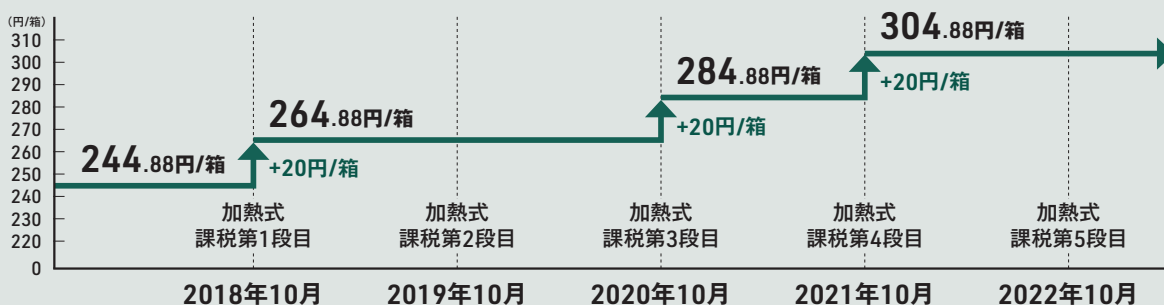
※参考URL：財務省 財政制度等審議会 たばこ事業等分科会(答申・報告書等)
https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_tobacco/report/index.html

加熱式たばこに係る課税区分の新設

2018年から2022年にかけて、安定的な税収を確保しながら加熱式たばこと紙巻たばこの税額負担水準の最適化を目的に加熱式たばこの課税区分が新設され、5段階に分けて実施されました。これまで加熱式たばこは紙巻たばこの税率が適用されていましたが、この新区分では、加熱式たばこを紙巻たばこと区別し、従来の「重量」のみの計算式から、「重量」および「小売定価」を基にした計算式に見直されました。

たばこ税の課税経過

→ 紙巻たばこの課税経過



- ・紙巻たばこの税率上げは、消費者およびたばこ関係事業者の予見可能性を高めるため、3段階で1本1円ずつ、合計3円(1箱60円)引き上げられました。
- ・上記の税率は、国税であるたばこ税およびたばこ特別税、地方税である都道府県たばこ税および市町村たばこ税の合計額です。

IQOSの概要

スマートコアスティック®の技術について

「IQOS ILUMA i」シリーズの特長

「IQOS ILUMA」シリーズの特長

製品ラインアップ

IQOSの販売場所・サポート

lii HYBRID™について

IQOS、加熱式たばこ製品について

05

IQOSの概要

IQOSについて

IQOSは、企業ビジョンである「煙のない社会」の実現に向けて開発されたRRPs^{※1}製品です。たばこ葉を燃やさずに、紙巻たばこの嫌な部分をできる限りなくしつつ、たばこ葉本来の香りと味わいを引き出します。

燃焼せずに加熱することで、専用のたばこスティックに含まれるたばこ葉から、ニコチンを含む風味豊かな「たばこペーパー（蒸気）^{※2}」を発生させます。そのため、消し忘れややけどの心配がなく、灰も出ず、たばこの煙においても少なく^{※3}、副流煙^{※4}も発生しません。口から吐き出されるたばこペーパー（蒸気）は素早く消えるため、紙巻たばこに比べ周りの空気に与える影響が少なくなります。

IQOSをはじめ、電子／加熱式たばこ、その他たばこの代替製品は消費財の新しい分野です。その分野を先導する私たちは、最先端の製品開発力と科学的実証を通して、成人喫煙者の嗜好と規制を満たす製品ポートフォリオの構築を目指しています。



火を使わない



灰が出ない



煙においが少ない^{※3}



周りの空気に与える
影響が少ない

名称の由来

IQOSという名称は、現代的なテクノロジーを想起させるような音の響きを意識して名付けました。短い語数でネーミングすることで、人々が覚えやすく、どの言語圏でも発音しやすい名称になっています。

IQOSの販売拡大と展開

2014年11月に、日本（名古屋）とイタリア（ミラノ）で先行販売を開始。その後、日本では2015年に東京をはじめとした一部の地域での販売を開始し、2016年から全国に展開しました。現在では、日本をはじめ、スイス、イタリア、韓国などの世界80市場以上で展開しています。

※1 RRP（リスクを低減する可能性のある製品）は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなるが見込まれるか、または少なくなる可能性のある製品を指すものとして使用している言葉です。開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPsが存在します。RRPsはたばこ葉を燃やさないで、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害成分ははるかに少なくなっています。※2 たばこペーパーとは、たばこ葉を加熱した際に発生する蒸気のことを指します。主な成分は水・グリセリン・ニコチンです。※3 2020年11月から2021年3月までに、過去に紙巻たばこを吸ったことのある合計674人のIQOSユーザーを対象にイタリアと日本で実施された調査。※4 副流煙とは、火のついたたばこの先端から出る煙を指します。

スマートコアスティック®の技術について



スマートコアスティック®とは

「スマートコア・インダクション・システム®」に対応した、IQOS イルマおよびIQOS イルマ i 専用のたばこスティックです。IQOS イルマとの組み合わせで、新しいたばこ体験を提供します。

内蔵する誘熱体（ステンレスコーティングされた金属）によって、内側からムラなくたばこ葉を加熱。ブレードを使用しないので、ホルダーの耐久性にも貢献します。先端はフロントシールで密閉されており、残りかすが落下しないため、使用後もホルダーが清潔に保たれます。



ブレードがなく
高い耐久性



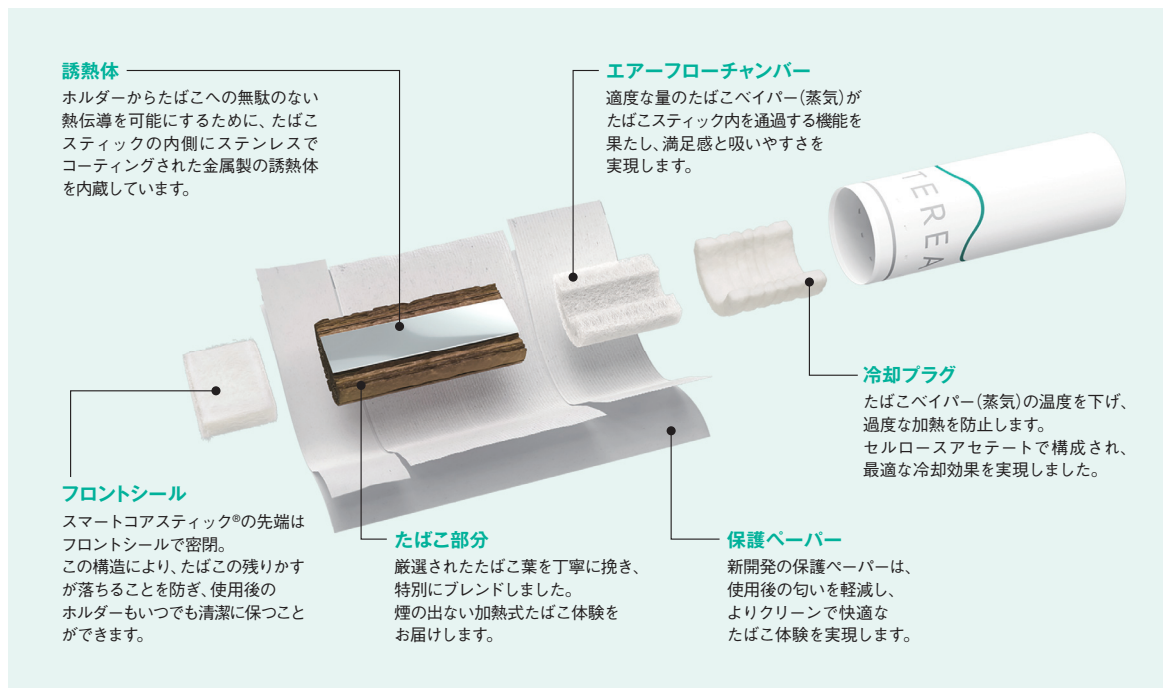
残りかすが
出ない



使用後の
お手入れ不要

特別にブレンドされたたばこ葉を使用し、さらにエアフローチャンバーを搭載することで、たばこ本来の旨みを逃すことなく最大限に引き出し、ふくよかなたばこベーパー（蒸気）を実現しています。

スマートコアスティック®の構造



「IQOS ILUMA i」シリーズの特長

IQOS ILUMA i

IQOS イルマの主な機能はそのままに、より使いやすく改良を加えた最新モデル。タッチスクリーンによって、残りの使用時間や加熱の進行状況などの情報が一目で確認可能。さらに、ポーズモードやフレックスパフ※1※2などの新たな機能を搭載しています。

4つの新機能



タッチスクリーン

使用時間や使用回数の残り、加熱ステータスなどを一目で確認できます。



ポーズモード

使用中に最大8分の一時的停止ができ、中断したところから再開が可能です※3。



フレックスパフ

初期機能の14口(パフ)に加えて、最大4口(パフ)まで追加できます※2。



フレックスバッテリー

IQOSアプリを使用して、ホルダーのバッテリーモードの設定変更が可能です。



IQOS ILUMA i PRIME

スタイリッシュなデザインで新機能が詰まった最上位モデル

- ・最大3本連続使用が可能※4※5
- ・アルミ製の本体とラップカバーの上質なデザイン
- ・タッチスクリーン搭載
- ・ポーズモード搭載
- ・フレックスパフ機能搭載



IQOS ILUMA i

お馴染みのデザインで新機能が詰まった定番モデル

- ・最大3本連続使用が可能※4※5
- ・片手で開閉可能な側面ドア
- ・タッチスクリーン搭載
- ・ポーズモード搭載
- ・フレックスパフ機能搭載



IQOS ILUMA i ONE

20本連続使用が可能なオールインワンモデル

- ・20本連続使用が可能※6
- ・フレックスパフ機能搭載

スペックシート

	IQOS ILUMA i PRIME	IQOS ILUMA i	IQOS ILUMA i ONE
タッチスクリーン	○	○	
ポーズモード	○	○	
フレックスバッテリー	○	○	
フレックスパフ	○	○	○
オートスタート	○	○	○
連続使用	最大3本	最大3本	20本

※1 フレックスパフ機能が失われても、製品自体の機能には影響を及ぼしません(保証対象外)。 ※2 フレックスパフの作動は個人の使用パターンによって異なり、毎使用時に作動するとは限りません。システムにより制御されているため、ご自身で開始することはできません。作動した場合、使用開始から6分間以内であれば初期設定14口(パフ)に加えて、さらに4口(パフ)まで使用できます。ポーズモードを使用した場合は作動しません。 ※3 パフォーマンスモード設定中のみで、最初の3分間または8口(パフ)に達する前に一時停止が可能。一時停止した場合、一時停止したスティックを含めて2本まで連続使用可。そのうち、ポーズモードは1回のみ使用可能。 ※4 バッテリーの状態または使い方によっては2本連続使用のみとなります。 ※5 3本連続使用ができなくても、製品自体の機能には影響を及ぼしません(保証対象外)。 ※6 フル充電されたホルダーで20本の使用が可能。

IQOS、加熱式たばこ製品について

「IQOS ILUMA」シリーズの特長

IQOS ILUMA

※在庫限りで販売終了

革新的な加熱方式である「スマートコア・インダクション・システム[®]」を搭載。専用たばこスティックに内蔵された誘熱体により、内側からたばこ葉を加熱するため、使用後のクリーニングが不要に。

たばこ本来の旨味を存分に引き出し、満足感のあるたばこ体験を実現します。



IQOS ILUMA PRIME

IQOS イルマのフラッグシップモデル

- ・アルミ製の本体とラップカバーの上質なデザイン
- ・自動加熱などの高度な機能を搭載



IQOS ILUMA

IQOS イルマのスタンダードモデル

- ・片手で開閉可能な側面ドア
- ・自動加熱などの高度な機能を搭載



IQOS ILUMA ONE

軽量で持ち運びに便利な一体型モデル

- ・20本の連続使用が可能^{※1}

スペックシート

	IQOS ILUMA PRIME	IQOS ILUMA	IQOS ILUMA ONE
オートスタート	○	○	
スマートジェスチャー	○	○	
連続使用	2本	2本	20本

※1 フル充電されたホルダーで20本の使用が可能。

製品ラインアップ

スマートコアスティック® ※2025年3月時点

TEREA(テリア) 23銘柄

クラシック レギュラー	フレーバー系 レギュラー	クラシック メンソール	フレーバー系メンソール	カプセル入り メンソール
リッチ・レギュラー 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	ルビー・レギュラー 深いレギュラーに濃厚なベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	ブラック・メンソール 濃厚な味と爽快感、強快メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ブラック・パープル・メンソール 強快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	パープル・メンソール 爽快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
レギュラー 濃厚な喉ごしと、すっきりとした後味 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	バランスド・レギュラー まろやかさと爽快感にわたりのバランス感 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	メンソール 深みのある爽快メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ブラック・イエロー・メンソール 強快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	イエロー・メンソール 爽快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
スモース・レギュラー 深みのあるコクとすっきりとした後味 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	ウォーム・レギュラー 香ばしさと爽快感、まろやかな味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	ミント 爽やかなミントの清涼メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ブラック・ピー・メンソール 強快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	トロピカル・メンソール 爽快メンソール×爽快感ダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
カプセル入りレギュラー ハイブリッド・レギュラー 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・レギュラー 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★

SENTIA(センティア) 17銘柄

レギュラー	フレーバー系 レギュラー	メンソール	フレーバー系メンソール
デュープ・ブロンズ 濃厚なコクとうまみ 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	バランスド・イエロー うまみと爽快感のバランス感 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	スモース・パイオレット 軽やかなレギュラーにダークベリーの香り 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	アイシー・ブラック 深みのある爽快メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
ピュア・ティーク すがすがしく、しっとりとした味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	スモース・ゴールド 雄大な味わいと爽快感 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	フロスト・グリーン すっきりとした爽快メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	クール・ジェイド 心地よい清涼メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
バランスド・ゴールド うまみと爽快感のバランス感 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	クリア・シルバー 軽やかな味わいとすっきりとした後味 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★	フロスト・グリーン すっきりとした爽快メンソール 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	フレッシュ・エメラルド ほのかな爽快感 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★
ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★	ハイブリッド・メンソール 強さと、すっきりする厚手な味わい 強 さ: ★★★★★ コ ク: ★★★★★ 香 り: ★★★★★ メンソール感: ★★★★★

IQOSの販売場所・サポート

販売場所

IQOSとIQOS専用たばこスティックは、現在、以下の場所で販売しています。 ※2025年3月時点

- IQOSオンラインストア
- 全国4店舗のIQOSストア
- 全国のIQOSショップ
(ヤマダ電機一部店舗、ビックカメラ一部店舗)
- 全国のIQOSコーナー
(ドン・キホーテ系列一部店舗他)
- (在庫状況に応じて) 選定されるたばこ取扱店
- コンビニエンスストア

IQOSストア

20歳以上の喫煙者の方々にIQOSという製品が持つ魅力を充分にご理解いただくべく、旗艦店「IQOSストア」を全国4都道府県で4店舗展開しています。

IQOSキットやIQOS専用たばこスティックの販売はもちろん、IQOSを体験できる専用ラウンジや、IQOSを楽しみながらご理解いただけるコンテンツを用意。一部店舗では、会員登録をいただいた20歳以上の喫煙者向けのプレミア・ラウンジも設置しています。さらに、IQOSのメンテナンスや修理にも対応しています。



IQOSストア 札幌

IQOSストア一覧

IQOSストア 札幌

北海道札幌市中央区北1条西3-3 敷島北一条ビル1階、2階
TEL: 011-223-2737
オープン: 2020年12月18日

IQOSストア 名古屋

愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄百貨店本店メンズ館1階
TEL: 052-589-3156
オープン: 2014年11月4日

IQOSストア 銀座

東京都中央区銀座2-4-18 アルポーレ銀座
TEL: 03-3538-5785
オープン: 2017年3月3日

IQOSストア 心斎橋

大阪府大阪市中央区西心斎橋2-2-3
TEL: 06-6212-5800
オープン: 2021年8月18日

お電話やチャット・メールでもIQOSユーザーをサポート

アフターサポートは、お電話・チャット・メールにてお問い合わせ対応をしております。

- IQOSサポートページURL: <https://jp.iqos.com/support>
- IQOSカスタマーセンター: ☎0120-190517 (営業時間 9:00~21:00)

IQOS、加熱式たばこ製品について

lil HYBRID™について



INTRODUCED BY
IQOS

lil HYBRID™ (リル ハイブリッド™)

lil HYBRID™ (リル ハイブリッド™)とは、KT&G製の専用たばこスティックとリキッドでたばこペーパー(蒸気)を発生させる、煙の出ない加熱式たばこデバイスです。操作性に優れ、ユーザーにストレスを感じさせない設計が特徴。残り回数や充電残量のディスプレイ表示、定期的なクリーニング不要などの高い利便性が支持されています。

KT&Gとの協働と対象製品の日本市場への導入は、企業ビジョンである「煙のない社会」を実現するための、拡大と多様化戦略に沿うものです。



色 : コバルト・ブルー、マット・ブラック、メタリック・ブロンズ、プリズム・ホワイトの4色
重量 : 95g(カートリッジ除く)



スティック×リキッドの ハイブリッドテクノロジーを搭載

たばこスティックとリキッドを一緒に楽しめる革新的なテクノロジーを搭載。リキッドを使用しますが電子たばこではない、次世代の加熱式たばこデバイスです。専用たばこの味わいとリキッドによるたばこペーパー(蒸気)が、新たな満足感を提供します。



専用たばこの特殊な形状で 定期的なお手入れが不要に

専用のたばこスティックは直接たばこ葉に触れない形状で、使用後のクリーニングが不要です。デバイスに差し込むと自動で加熱スタート。電源がオンになったことを振動で知らせ、吸い終わったらスティックを引き抜いて終了。快適な使用感を実現します。

専用たばこスティック4銘柄+リキッドカートリッジ1銘柄



MIIX
アイス



MIIX
ミックス



MIIX
アイスプラス



MIIX
ベルベット



リキッドカートリッジ(全フレーバー共通)

20歳未満の者の喫煙は、法律で禁じられています。加熱式たばこの煙(蒸気)は、発がん性物質や、依存性のあるニコチンが含まれるなど、あなたの健康への悪影響が否定できません。



PHILIP MORRIS JAPAN

フィリップ モリス ジャパン合同会社

〒100-6190

東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー22階

報道関係者用
お問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社 広報事務局（電通PRコンサルティング内）

柏木：✉ masahiko.kashiwagi@dentsuprc.co.jp

阪口：✉ tomoko.sakaguchi@dentsuprc.co.jp